

協定面積 (ha)	田	19.1	対象農用地 (ha)	田	19.1	対象資源	数量
	畑	0.2		畑	0.2	農用地	19.3ha
	草地	0		草地	0	開水路	2.7km
	計	19.3		計	19.3	パイプライン	
組織の構成員	農業者4人、非農業者4人 参加団体：下土方水田パイプライン事業推進委員、 下中老年人クラブ、下中花の会、自治会（下中区）				ため池	1箇所	
					農道	2.6km	

地域の紹介

本地区は、高天神の麓に位置し、水田の広がる田園地域である。より効率の良い農業経営が営まれるように経営体育成基盤整備事業（平成21年度～平成26年度）によりパイプライン化を進めている。



発足式64名参加

活動内容

（基礎部分）遊休農地の発生状況の把握、施設の点検、共同作業計画の策定、草刈り、配水操作 他
 （農地・水向上）施設の機能診断、診断結果の記録管理、年度活動計画の策定、きめ細やかな雑草対策、異常気象等後の見回り、応急措置 他
 （農村環境向上）景観形成、生活環境保全計画の策定、地域住民等との交流活動、学校教育等との連携、農用地を活用した景観に配慮した作付け



開水路草刈り

地域の将来像

高齢化の問題と、地権者と耕作者の連携が以前に比べたら希薄になっている。里の会を仲介し、地域に一体感が生まれるような潤滑的な活動になればありがたい。心配される耕作放棄地や農業従事者削減にならないことを期待している。



水路修繕

課題

対象農用地が非農家で耕作者に委託している土地が多い。耕作者から地権者に土地が返却された場合、その後の土地の賃借を一元管理する組織を立ち上げた。しかし、高齢化する中であって地区内だけの解決ではすまない状況になりつつある。条件の良くなる圃場をどのように維持し続けるかが課題である。

抱負・コメント

ふるさととは自分たちの手で守り将来につなげていくことが当地のコンセプトである。区の行政を組織の一員に入れたのも地区全員が同じベクトルになるためである。2年目であるが早く一本立ち、成熟した組織活動になるよう啓蒙していきたい。水の音・蛍の飛び交う・花の咲くそんな田園風景を考えながら・・・。

